

西がすや 議会だより

12月議会号

次回 3月 議会は…

3月1日 (水) 9:30

2日 (木) 9:30

3日 (金) 9:30

} 一般質問予定

決議書

2

H28年度 補正予算

4

~ 6

一般質問12人

12

町民ひろば

24

STOP!!
飲酒運転

あなたのモラルで、助かる「命」があります

©2011 NPO法人エス・エス

NO.143 平成29年2月6日発行

平成28年 第4回12月定例会

12月2日(金)から16日(金)までの会期で開催されました。

平成28年度補正予算・予算に対する修正案・条例改正などを審議しました。補正予算・条例は全て可決となりました。

他に意見書1件は可決、1件は否決となりました。また、決議案1件が出され可決となりました。

特別支援学校を粕屋町に誘致することを要望する決議

福岡県は、知的障害のある児童や生徒が通う特別支援学校を今後10年間で3校新設することを表明しました。知的障害のある子どもを受け入れる特別支援学校の児童、生徒数は2006年度の1,405人から、2015年度には、約1.5倍の2,101人に増加しています。児童、生徒数は今後10年で3割増加すると推計していますが福岡地区では6割以上の増加を見込んでいます。県は、今後の方向性として新設の必要な地域を3つ挙げました。1つには、古賀特別支援学校(糟屋地区、宗像地区、遠賀郡)の通学区域。2つには、糸島市または、近隣地域を区域とする地域、3つには、太宰府特別支援学校(筑紫地区)の通学区域です。糸島市域については、保護者の要望もあり決定しているようですが残る2校については、福岡市東部近郊を想定しているようです。

粕屋町の県立古賀特別支援学校に通う児童、生徒は44名で、全体の12.3%に及びます。町内各学校の特別支援学級の児童、生徒数は年々増加するばかりで平成28年10月1日付の4小学校で190名、2中学校で36名(うち知的障害と肢体不自由151名、情緒障害75名)にもなります。

こうした現状から、粕屋町における今後の特別支援教育を考えれば、粕屋町内に施設設置が必要不可欠と考えます。これまでの県の特別支援学校の地域区分から考えると、交通の利便性や位置などから粕屋町が最適と思われれます。よって、粕屋町地内に県立特別支援学校を誘致することを要望するものです。

以上、決議する。

平成28年(2016年) 12月16日

粕屋町議会

提案理由

粕屋町から県立古賀特別支援学校に通う児童・生徒は44名で、全体の12.3%に及びます。町内各学校の特別支援学級の児童・生徒数は、小学校で190名、中学校で36名にもなります。小中学校で年々増加するばかりです。こうした現状から、粕屋町における今後の特別支援教育を考えれば、交通の利便性や位置などから粕屋町が最適と考えられるため。

12月定例会における、主な議案に対する 各議員の賛否結果一覧

議案名		日本と台湾の民間租税取決めに規定された内容を実施するため他税条例の一部を改正	粕屋町職員の休日及び介護休暇の分割取得及び介護時間の新設に関する条例の一部を改正	粕屋町学校給食調理場設置条例の全部を改正	粕屋町農業委員会の委員及び農地利 用最適化推進委員の定数を定める条 例	日本と台湾の民間租税取決めに規定された内容を実施するため他国民健康保険条例の一部を改正	議員より提出された平成28年度補正 予算減額案	平成28年度粕屋町一般会計補正予算	北筑昇華苑組合の共同処理する事務の変更及び北筑昇華苑組合規約の一部変更に関する協議	遅延損害金等の暫定合意
○⇒賛成 ●⇒反対 一⇒退席 欠⇒欠席										
議案番号		70号	71号	72号	73号	74号	75号	75号	76号	77号
所 属 委 員 会	採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	否決	可決	可決	可決
	議場(賛成/反対)	15/0	15/0	14/1	12/3	15/0	7/8	9/6	15/0	8/7
	付託委員会	総務	総務	学校給食	建設	厚生	予算	予算	厚生	学校給食
総 務	山脇 秀隆 正	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	小池 弘基 副	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	伊藤 正	○	○	○	○	○	○	●	○	●
	本田 芳枝	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	川口 晃	○	○	○	●	○	○	●	○	●
建 設	長 義晴 正	○	○	○	○	○	○	●	○	●
	八尋 源治 副	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	太田 健策	○	○	●	○	○	○	○	○	●
	安河内勇臣	○	○	○	○	○	○	●	○	●
	中野 敏郎	○	○	○	○	○	●	○	○	○
厚 生	久我 純治 正	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	福永 善之 副	○	○	○	●	○	○	●	○	●
	田川 正治	○	○	○	●	○	○	●	○	●
	木村 優子	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	安藤 和寿	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議 長 進藤 啓一	議長は、採決に加わりません。									

☆議案名については、分かりやすい文言に置き換えています。

否決

減額修正案

給食センター建設事業に関し、工事ストップにおける、業者側からの遅延損害金(約5,600万円)を認めないこと

賛成者(7名)	反対者(8名)
川口 太田 福永 田川 長伊藤	安藤 中野 木村 小池 久我 本田 山脇 八尋

内容

平成28年度 一般会計補正予算の減額修正案を、議員提案しました。

粕屋町が給食センター建設工事を23日間ストップした影響で、業者側から約1億1,000万円の請求を求められております。

執行部は、業者と締結した暫定合意書をもとに、この補正予算で5,869万円の支払いを求める予算を提案しております。

議員提案の修正案の本身は、遅延損害金は認められない、ということでも、869万円を減額するもの。

提案者

福永 善之

賛同者

長 義晴

『可決』から『否決』へ

遅延損害金が予算化されている補正予算は、13日(火)に議員全員で構成する予算特別委員会でも審議しました。

この補正予算に関しては、久我予算特別委員長宛に、12日(月)に福永議員・長議員の連名で減額修正案が提出されておりました。

同委員会での修正案の採決結果は、賛成7・反対7で委員長判断で『可決』となりました。

しかしながら、16日(金)の議会最終日の採決は、
→ 賛成7・反対8
で前日の同委員会での採決結果と違い『否決』となりました。

予算特別委員会での提案理由

福永 善之

遅延損害金の中身を議会として、また議員としてどれ位理解しているのか疑問だ。

町の顧問弁護士が中身を精査したからと言って、何故、自分たち議員自ら確認しないのか。

このような他人任せの精査なんて、町民に説明できない。

討論内容

反対

安藤 和寿

新給食センターで供給される給食は官民と一体になった運営、一番の目的は子供達に安全・安心な給食を供給して行く事であり目的を確実に言う為には、双方が良い関係である事、同じベクトルでなければならぬ。

今回発生した事を肝に命じ、深く反省を促し今後の事務執行に活かされる事を期待しながら反対討論と致します。

賛成

長 義晴

この議案の内容は、新給食センター建設に伴う工事契約を十分に把握されることもなく工事を一時中断されたことが、遅延損害金発生が起きた原因であります。

議会に何の説明もなく、突然支払補正予算として5,868万9千円の予算を計上されることは認められない。よって、議案第75号の減額修正案に賛成致します。

白熱した審議

最終日の本会議では、採決前の討論に議場が熱くなりました！
(反対討論5名・賛成討論3名)

反対

中野 敏郎

議会と執行部は両輪に例えられますが、私は駕与丁池に架かっていた水鳥橋のような関係ではないかと思えます。今も残る橋脚の一方が議会、他方が執行部。

そして両方から町民の方々に支えられバランスをとっている。

橋脚の間が広すぎても、狭すぎても支える人(町民)へ負担が増します。

この一年情報開示を積極的に行っている執行部をここは積極支持すべきです。

賛成

田川 正治

1億円以上の税金を遅延損害金に支払うのに、議員には損害金の交渉内容も報告せず、突如として12月議会に損害金の議案を提出し、「損害金の支払先」にありきで、議会で強行しようとしているが、議会と行政の信頼関係を崩すことになる。

さらに、町民への説明責任を全く果たさず、損害金の予算を執行することには町民は納得しない。

5,868万9千円は減額すべきだ。

反対

本田 芳枝

なにを今更という感じた。

遅延損害金に関する予算案審議は初めてで慎重にと提案者は述べているが、6月議会に同じような内容で提案され、議会は一度減額修正案を可決している。

それを受けて7月より弁護士を交えて検討、大幅に減額された暫定値が今

回示されているのでこの修正は不要だ。当時の職員の執行上のミスもあるのでそこを明確にさせることこそ必要だ。

賛成

太田 健策

私は、給食センター建設については初めから反対してきた。なぜなら建設工事が非常に高かったからである。

今回出された遅延損害金の金額の根拠が分からない。

顧問弁護士では、金額の中身は分からない。

業者が出した請求金額と町が試算した金額で交渉すべきで、業者が出した金額をただ値切っただけでは認められないので、修正案には賛成します。

反対

小池 弘基

今回は、SPC(管理運営会社)より工事中断に伴う遅延損害金を早く支払わなければ工事を中断すると言われ、切羽詰まった状況のなか、双方の代理人が4月からの運用開始に向け暫定合意した金額であり、この減額修正の議案を可決すれば違約金につながる。

反対

山脇 秀隆

平成29年1月10日に引き渡しが行われることが決まっている。

暫定合意書についても同1月31日までに工事延期に伴う支払いが決まっている。

補正予算で準備することは当然のことだ。

なるほど、議会の決まり事！

(Q) 同じ議案に対して、委員会と本会議の採決の結果は、どちらに効力があるの

(A) 本会議です

修正前の原案

可決

平成28年度 一般会計補正予算 執行部が提出した原案(遅延損害金5,869万円含む)予算案を認めること

賛成者(9名)	反対者(6名)
安藤 中野 木村 太田 小池 久我 本田 山脇 八尋	安河内 川口 福永 田川 長伊藤



新給食センター建屋(2017.1.12撮影)

内容

主な予算は、給食センター建設に伴う、文部科学省からの交付金約2億1千万円です。28年度一般会計当初予算では、この交付金が貰えない、という想定で、貯金より1億8,500万円の財源を穴埋めする予定でした。しかしながら、国の第3次補正予算が閣議決定され、交付金が貰えるようになった模様です。

遅延損害金

議員の採決に影響か！

13日(火)の予算特別委員会での審議では、この紙面の4・5ページに記載したように、補正予算に対する減額修正案を可決しました。

それを基に、補正予算から遅延損害金を除いた、修正された原案の採決を行いました。

採決の結果は、全員賛成で可決しました。

しかしながら、16日(金)の本会議では、補正予算に対する減額修正案は否決でした。

それを基に、執行部提案の原案(遅延損害金も含む)の採決を行いました。

採決の結果は、賛成多数(賛成9・反対6)となりました。

討論内容

反対

福永 善之

遅延損害金という議会を二分するような予算は、他の予算と切り離して単体で提案するべきだ。

この補正予算を反対できないように、他の予算を人質に取るような手法は慎むべきだ。

賛成

本田 芳枝

昨年6月議会では廃棄物処理の費用が含まれていた補正予算案には審議不十分ということで賛成できなかった。

その後議会では給食センター建設特別委員会にて「参考人招致」を行い調査。

また、町も建設地有害物対策委員会への諮問など努力を重ね、遅延損害金は減額に減額を重ねる妥当な金額にこじつけることができた。

その努力に報いる意味で賛成する。

新たな

農業委員会制度

が始まります！

農業委員会改革の考え方

農業委員会は、その主たる任務である、担い手への農地等の利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地等の利用の最適化を積極的に推進していくことが、何よりも重要です。

今般の農業委員会等に関する法律(昭和26年法律第88号。以下「法」という。)の改正では、農業委員会の主たる使命をより良く果たせるよう、

- ① 農業委員会の事務の重点化
農地等の利用の最適化の推進が最も重要な事務であることを明確にする
- ② 農業委員の選出方法の変更
地域の農業をリードする担い手が透明なプロセスを経て確実に農業委員に就任するようにするため、
 - ア 公選制を廃止し
 - イ 市町村長が市町村議会の同意を得て任命する方法に改め
 - ウ その際、農業委員の過半数は、原則として、認定農業者でなければならない
- ③ 農地利用最適化推進委員の新設
主に合議体としての意思決定を行う農業委員とは別に、担当区域における農地等の利用の最適化の推進のための現場活動を行う農地利用最適化推進委員を新設する
- ④ 都道府県農業会議及び全国農業会議所の農業委員会のサポート組織としての機能の強化
一般社団法人に移行して、都道府県知事又は農林水産大臣が農業委員会ネットワーク機構として指定する

ことを内容とする農業委員会改革を行い、平成28年4月1日から改正法が施行されました。

議会議員の厚生年金への加入を求める可決

退席(2名)	反対者(5名)	賛成者(8名)
川田 山口	中野 安河内 太田 福永 長	安藤 木村 小池 久我 本田 伊藤 山脇 八尋

提出者

山脇 秀隆
長 義晴
久我 純治

提案理由

山脇 秀隆

昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

このような中で、地方議会議員の年金制度を設置することが、議員を志す新たな人材確保につながると考える。

よって、地方議会議員の人材確保の観点から、地方議会議員年金制度加入のための法整備を実現するように求める。

この意見書に関しては、12月2日(金)会議の初日に提出者に対する質疑がありました。
また、会議の最終日には、討論の後に、採決を行いました。

質疑内容

質問

田川 正治

全国的に税金の無駄遣いや政務活動費の不正問題など、国民は私たち議員への税金の使い方に厳しい状況です。厚生年金に加入できない人や国民年金を支払えない人も増えているが。

答弁

山脇 秀隆

社会通念上行われるもので、批判に値しません。

質問

本田 芳枝

厚生年金に加入ということであれば、若い方の議員のなり手が無いと思えます。

私自身は、議員活動は、半分はボランティアだと考えていますが。

答弁

山脇 秀隆

年金制度を導入することで、若い世代の議員の要望が出てくる期待があります。

討論内容

反対

中野 敏郎

私はこのことに関して住民の方々に説得できるような言葉を持っていません。

議員は基本、議員報酬だけで完結すべきであり、職業化すべきではないと思っております。以上のことにより反対いたします。

反対

福永 善之

一度、廃止された地方議員年金制度の復活には反対だ。

この制度の財源は、『議員』と『議員が所属する地方自治体』が負担折半で運用していくようだ。

とても住民の理解が得られる提案ではない。

一口メモ

地方議会議員年金制度は平成23年6月1日に廃止となりました。

ごみ処理施設の終結 における3つの要望 否決

退席(1名)	反対者(8名)	賛成者(6名)
福永	安藤 木村 小池 長 本田 伊藤 山脇 八尋	中野 川口 安河内 太田 田川 久我

提出者

川口 晃
田川 正治

提案理由

川口 晃

「理想の広域ごみ処理システム」として福岡県が推進してきた、ごみ固形化燃料(RDF)発電事業について、事業を推進してきた福岡県と電源開発(株)が平成34年度末に事業から撤退する意向を参画する5つの清掃施設組合に通知してきました。

その理由は、3点(詳細は割愛します)あるようです。

本事業は、ダイオキシン類規制強化で対応困難な小規模自治体の支援として、福岡県が推進してきたものです。

また、事業開始から、様々なトラブルが発生し、当初に約束された処理コストも1トン当たり5000円から、2倍以上の負担になり、参画地方自治体の重い負担となっています。

そこで、福岡県に対し、3つの要望を求めます。

- 1、施設の撤去費用は福岡県が負担するなど
- 2、3、は詳細を割愛します。

この意見書に関しては、12月2日(金)会議の初日に提出者に対する質疑がありました。また、会議の最終日には、討論はなく、採決を行いました。現在、粕屋町は、須恵町と篠栗町とで設置した組合(クリーンパーク)でごみ処理を行っております。

この組合は、『各町の町長』と『各町から3名の議員』で組合議会を構成しています。粕屋町の過去3年間のこの組合に対する負担金は、約19億円です。

質疑内容

質問

山脇 秀隆

RDFの事務組合があると思いますが、その組合で出されたのではなく、所属していない議員個人で、今回の意見書が出されております。

事務組合の方と意見調整は、どのようになっているのでしょうか。

答弁

川口 晃

今、山脇議員がおっしゃられましたのが、事務組合からの一切の説明は、今あっております。

それで、これは私たち個人として私と田川議員の2人の連名で出したわけです。

質問

長 義晴

クリーンパーク稼働延長事業継続は、平成27年10月19日協定案が承認されて平成40年3月31日まで10年間施設延長が締結されました。

RDF発電事業の終結は新聞報道がされましたが、この件について一部事務組合の議会では一切協議されていません。

同じ意見書提出にあたっては各町意見集約後の過程を経てからにすべきで現時点での意見書提出は時期尚早である。

答弁

川口 晃

突然、10月22日に西日本新聞のトップ記事で出ました。一切この件について報告を聞いていません。

説明があつたら控えたと思います。今、頑張つてある三浦町長(篠栗町)さん、クリーンパークの議会に対して失礼になるとか、一切迷惑はかからないと思っております。志免町も同じように出しています。

視察 あれこれ!



粕屋町議会には、3つの常任委員会があり、毎年1回、それぞれの委員会が先進地視察を行っております。視察費用は、議員一人当たり予算最高8万円。

なお、全国の地方議会で「政務活動費(各議会により支給額は異なる)」の不明朗な支出が世間の関心を呼んでおりますが、粕屋町議会には、この費用はありません。

建設常任委員会(平成28年10月24日～25日)

●参加人数

10名(内訳:議員8名・職員2名)

●総費用

635,200円(63,520円/人)

●視察先

①奈良県五條市 五條市役所/青ネギ生産組合

●視察

②京都市下京区 タキイ種苗(株)見学

●目的・内容

①国の新事業として、平成22年より六次産業化(生産・加工・販売までを一貫した事業)の取組みが始まり、全国的に事業が行われています。

奈良県五條市では、自治体と地域農協が一体となり、国の補助金を活用し、青ネギ生産組合を立ち上げ、六次産業化事業を行っています。

粕屋町でも地域農業の特性をいかした農業振興策の参考とするべく、取組みの経緯等について、視察を行いました。

●青ネギ生産組合の基本経営

①年間を通して安定供給が求められる。

②併せて商品価格を固定化した契約。

※今年みたいに野菜の受給不足になっても単価は一定

③商品の徹底した品質管理で安全・安心出来る商品を提供。

④生産・加工・販売を通しての生産管理と販売管理が可能

⑤六次産業化は連携・連帯・協力が不可欠。

⑥補助金活用の情報に心掛ける。

※新築建物や設備の導入時利用

議会運営委員会(平成28年11月9日～10日)

●参加人数

8名(内訳:議員7名・職員1名)

●総費用

331,200円(41,400円/人)

●視察先

①佐賀県嬉野市

②佐賀県武雄市

●目的・内容

①議会運営及び議会改革について

議会報告会の現状及び議会広報編集特別委員会の現状、議会基本条例や視察受入れの現状などについて、議会改革の先進地から改革の内容を当町にも取り入れられないか視察を行いました。

嬉野市議会のモットーは「議員が変われば議会・行政・市も変わる」であり、議員定数は18人で会派制はとっていない。

また、ホームページでの掲載の仕方も参考になり、視察受け入れも多く、ユニークなのが2つの特別委員会のメンバー選定は議席番号の奇数・偶数で分け、任期を2年毎に入れ替えていることでした。

②公設図書館の在り方について

武雄市立図書館の運営方法が変わっており、館内にコーヒー店があり、人口5万人程度の自治体で、平日で雨の日とは思えないほどの来館者であふれ、若い人から高齢の方まで男女関係なく盛況だったように見受けられました。

交通対策及び九州大学農場跡地対策特別委員会(平成28年11月14日～15日)

●参加人数

9名(内訳:議員7名・職員2名)

●総費用

539,640円(59,960円/人)

●視察先

①兵庫県神戸市

②大阪府高槻市

●目的・内容

①九大農場跡地利用に伴い、兵庫県神戸市ガーデンシティ舞多間を訪問。ここは、ゴルフ場跡地約108haと九大の4.7倍と広い土地の開発でしたが、UR都市機構が中心となり、道路・公園・緑地・教育施設・住宅用地など総合的な都市開発の現状を視察しました。

②大阪府高槻市が現在建設中の安満遺跡保存方法や国史跡指定までの経緯など視察。

安満遺跡は、京都大学農場跡地で広さは、20.9haと九大農場とほぼ同じであり、資料館建設やヘリポートがある緑地公園など充実した計画でしたが、今後、粕屋町において資料館などの箱物建設の有無や防災公園などの都市計画の必要性を検討すべきと考えます。

③JR高槻駅北東地区土地区画整理事業での町づくりについて現地視察も合わせて行い、今回の開発場所は、民間企業の工場跡地の開発で、面積約9.3haと広く組合施行での土地区画整理事業でした。

議会運営委員会の主な実績

最近5年間で行った議会改革

平成24年度

- ①議員定数を17名から16名に削減
- ②議場及び会議室における音声認識システム及び映像配信システムを導入
- ③議場における投票を押しボタンによる採決方法に改善

平成25年度

- ①総合計画の審査を従来の委員会付託から全員による特別委員会へ変更を行う

平成28年度

- ①常任委員会複数所属制を採用し、定数を1常任委員会8名以内とする。
- ②意見書・請願・陳情の審議を従来の委員会付託から本会議場での全員による審議に変更

最近5年間の議会の動き

平成24年度

- ①議会報告会を開催(年1回)

平成25年度

- ①議会報告会を開催(年1回)

平成26年度

- ①議会報告会を開催(年2回)

平成27年度

- ②本会議場に国旗及び町旗の掲揚

- ①議会報告会を開催(年1回)

- ②本会議場の傍聴席に新たにモニターを設置

- ③町政史上初の百条委員会を設置

- ④町議会ですべての本会議場における参考人招致を行う

- ⑤学校給食調理場建設特別委員会を設置し、交付金申請忘れや廃棄物処理費問題の調査を開始

- ⑥子ども議会を開催(1月)

平成28年度

- ①議会報告会を開催(年1回)

- ②学校給食調理場建設特別委員会で参考人招致を行う

- ③子ども議会を開催(1月)

『いのちの中にある地球』から町政を問う

因・町長／実は自分たち足元の問題でもありません

中野 セヴァン・スズキ（当時12歳）による国連環境サミットでのスピーチは

いかがでしたか

安川・住民福祉部長

9月議会で紹介がありましたので、職員にも案内しました。

12歳の女の子がどうして地球規模のことを考えたのだろうか、やはり父親の存在が大きいと思えました。

私たち大人に問いかけていることに対し、未来をあなたたちに約束しますと言えるかというところ：私個人では努めていきたいと思えます。

中野 日本は長いこと循環型の社会でありました。

そのことをまちづく

りの基本に据えていく必要があります。

給食センターの次には、ごみ処理のことが大きな課題となると思います。

今後のRDFに対する指針は。

町長 自然を大切にすること、食

の大切さ、環境を大切にすること、そういった人間の基本になることを考えていかねばならない。

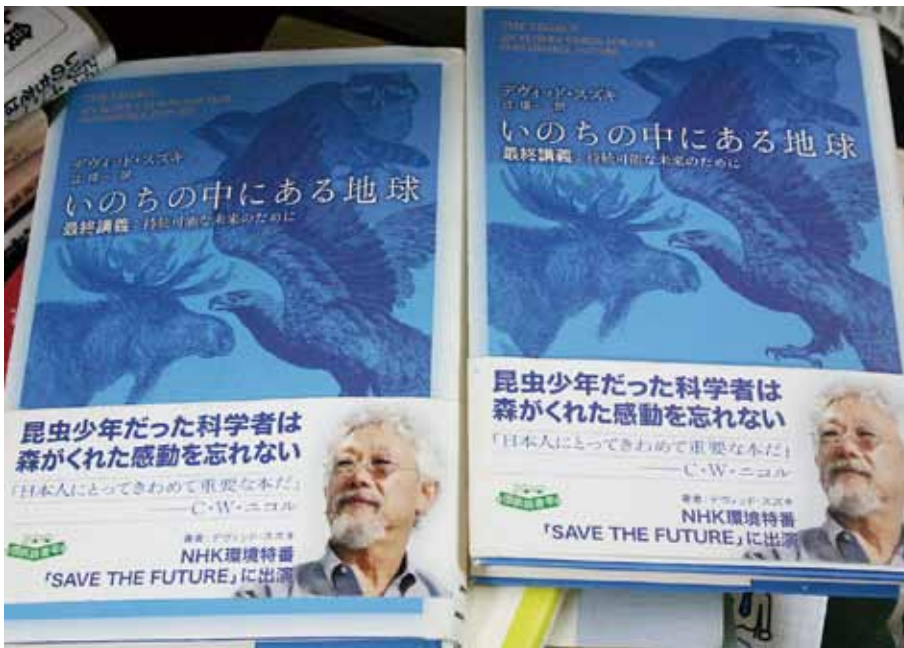
今後ごみ処理などもサイクルで考えなければならぬと思っております。

中野 3町のリーダーとして、循環型の社会を目指してください。

環型の社会を目指してください。



中野 敏郎 議員



デヴィッド・スズキの本

その他の質問

- 江辻コスモス畑・菜の花畑について
- 循環型社会形成推進基本法を基とする町の施策は
- ワールド・カフェの引継ぎはされているのか。

このURLでセヴァン・スズキ伝説のスピーチが日本語でも聴けます。

http://cgia.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j-future_20101011_0650



本田 芳枝 議員

多額の繰越金を公共施設建設基金に

因・町長／収入の予想が低く剰余金増になっている

本田 決算報告における繰越金の額が年々増えていることに対する町の取組が甘いのではと感じる。繰越金の考え方、町の方角性を問う。

安河内・総務部長 決算見込みの精査が少し甘かったのではと考えています。

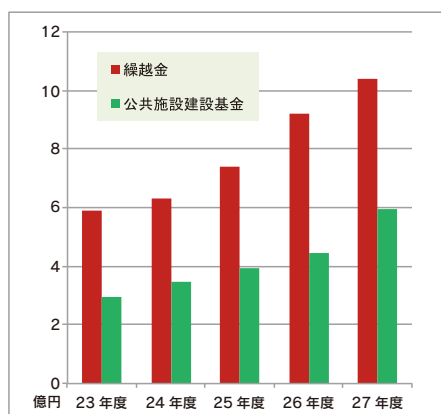
町長 収入を下げている状況です。

総務部長 実質的な積立金を考えると規定には達していない、また、粕屋町は決算剰余金を翌年度に繰り越して使っている状況です。

本田 地方財政法第7条には剰余金の2分の1をくだらない金額を翌々年度までに積み立てよとあるが。

町長 収入を下げて見積もっているから予算が厳しく、逆に支出は基金まで取り崩しているから決算時の剰余金増で繰越金が多くなっている。今後はともに精査しながら精度をあげていきます。

繰越金と公共施設建設基金の推移



※老朽化対策には程遠い公共施設建設基金

ふれあいバスの方向性を明確に

因・町長／早急に決めたい

本田 ふれあいバスの運行は今のままでは不備があり不十分だということが明確になった。

町長 担当が都市政策部に変わり、従来の福祉センター中心のバスとして町内巡回なのか、新たに地域公共交通を担う、つまり住民の生活支援・地域活動の移動手段の機能を待たせるバスにするのかその方向性を問う。

くのが一番大事では。

本田 地域福祉活動計画策定のアンケート調査の内容はご存知か。

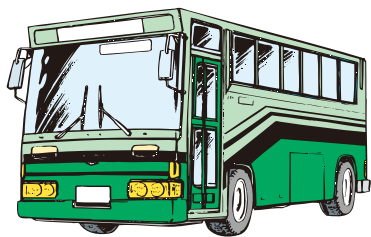
都市政策部長 残念ながら承知しておりません。

町長 3月議会までには何とかその方向性を示したい。

本田 バスだけに特化した内容で

町長 3月議会までには何とかその方向性を示したい。

因・都市政策部長 最少の事業費において最大の効果をあげたい。住民の方々の要望がどんなものかを踏まえた状況の中で進めている。



給食センターの遅延損害金1億8千万円は

因・町長／真摯に受け止めながら今後対策したい

田川 昨年12月に給食センターの

工事を中止したことに
よる遅延損害金につい
て、私が3月議会で質
問したら、町長は弁護
士を立てて裁判をして
でも戦うと答弁され、
遅延損害金を支払う意
思がないことを述べら
れたが、今後どう対応
されるのか。

町長 職員が給食会
社に、遅延損
害金はどうせ削られる
から多めに請求してく
ださいと言っておりま
すが、職員がやったこ
とです。真摯に受け
止めながら、今後対策
したいと思っていま
す。

田川 遅延損害金
1億8千万円

のうち今議会で約
5千9百万円が補正で
提案されているが、こ
の金額だけで終わるの
か。

石山・準備室長

残る4千8百万円に
ついてはSPC（特別
目的会社）と町が協議
していく内容で合意書
を取り交わそうとして
います。

田川 工事の中で一
番大事なガス

抜き対策を14か所で行
うとの事だったが。

準備室長

ガス抜き
管は今施



田川 正治 議員

図る。

田川 老朽化した町
営住宅を建て
替え、入居者の総数を
増やすべきだが。

町長 朝日住宅は非
常に古くなっ
ており、早速検討させ
て頂きたいと思いま
す。

田川 お年寄りが多
いので、エレ
ベーターのある5階建
て住宅にすべきだが。

町長 入居数を増や
すことについ
ても検討し、戸数あた
りを考えていきたい。



町立保育所を建て替える財源は基金で

因・町長／町で保育所を建替えることは考えていない

田川 町立保育所を
残すため、公
共施設整備基金を建て
替え財源に充てるべ
き。

町長 今のところ、
粕屋町で建て
ると言う事は考えてお
りません。

田川 待機児童の
200人を受
け入れるため、認可保
育所の建設が必要だが。

町長 老朽化した2
園を180人
ぐらいの保育所にし
て、待機児童の解消を



太田 健策 議員

給食センターの廃棄物処理は

因・町長／松藤教授に依頼

太田

町長は給食センター工事を一時ストップされ、専門家の松藤教授に依頼されたが、なぜ契約者である東洋食品グループと契約しておきながら調査をさせなかったのか。

町長

建設以前に土壤調査の報告を町の方が発注して結果を出しております。

太田

遅延損害金について、契約書の中では何か問題が発生した時には、工事をストップ出来ると確認したと思うが、だから遅延損害金の請求に当たらないと思う。

石山・準備室長

遅延損害金の根拠として、契約条項第50条にございまして、引渡しの際の遅延などによる費用などの負担として町の責任となっております。

太田

廃棄物処理について契約はどうなっていますか。契約を交わして、最終的に検査して支払いをするという事が当たり前ですが。

準備室長

支払い先としてはSPCとなるため、排出業者と3者契約をするよう進めています。

太田

28年度の廃棄物処理について、西松建設は途中から中間処理となり、丸電工は収集運搬の伝票と最終処理の伝票が合わない。町民に説得できるような報告してください。

平成27年度の入札結果は

安河内・総務部長／報告します

太田

粕屋町の落札の結果を報告してください。

太田

教育委員会担当の工事は、95%以上である、落札率が90%を超えると競争の原理が働いていない可能性がある。談合を疑われても仕方がない。政府は予定価格の事前公表は談合が容易に行われる可能性があるとして、弊害が生じた場合、速やかにやめるよう求めている。

総務部長

平成27年度の入札率、平均93.96%となっています。



給食センター廃棄物撤去

食品ロス削減に向けた取り組みを

因・都市政策部長／食品ロス削減に向けて取り組んでいきたい

木村 食品ロスとは、本来まだ食べられるのに捨てられる食品のことを指す。

この食品ロスを日本人一人あたりに換算すると、毎日茶碗1杯分、約136グラムのご飯を捨てていることになる。

食品ロスの約半分は家庭から発生している事もあり、食品ロス削減に向けた取り組みを進めることが重要と考える。

まず災害備蓄食品の状況と取り決めは、

安河内・総務部長

防災訓練あるいは防災講座、さらに民間団

体などが実施しているイベントにおいて、使用期限に近い物から試供品として来場者に配布するなどの活用を行っております。

木村 フードバンク活動をされてるボランティアに無償提供するのも一つの考えなのでは。

総務部長 今後十分に検討させていただきます。

木村 日本はもったいないという言葉の発祥地である。国内の食品ロスの発生状況をみると、非常に生じている。

都市政策部長 1. 区長会にも話してポスターなどを公民館に貼っていたとき、周知をお願いしたい。

2. ホームページに掲載

3. 役場の掲示板に掲示をしております。

福岡県も呼びかけている3010運動。この運動を町でも積極的に進めては。

因・町長 まずは職員から、そして議員の皆さんからも3010運動を実践しながら対応してまいります。

今後機会ある毎に訴えていきながら、食品ロスに向けて取り組んでいきたいと思っております。



木村 優子 議員

木村 大切なのは食に対して、もったいないという気持ちを持つことではないでしょうか。

皆さんが意識すること

とで食品ロスにつながる。

町長

給食センターでも、ただ栄養だから食べて下さいではなく、残滓がなくなるような調理方法を考えていかなければならないと思っております。

30・10運動



安藤 和寿 議員

自由に公民館が使われて利用できたと思っております。

公民館の新しい有効活用を

因・町長／公民館活動の促進は大変大事である

安藤

2016年
夏、気温は38度を超える記録的な猛暑となった。

熱中症対策、期間を設け公民館を開放する、町民にとつての居場所、交流の場、情報発信の場、ラウンジ・サロンとして活用は出来ませんか。

町長

高齢者の方が公民館に集まって暑さ対策をやるということも重要ではないかと思えます。

今後は公民館に事務員を置くという構想もっております。

原町駅地下掲示板の有効活用を

因・町長／早急な対応をしながら有効利用したい

安藤

美化・掲示物
定義・サポーターの仕組みについて問う。

因・都市政策部長

美化・年2回洗浄の作業
提示広告：地方公共団体、公社、公益法人、公共団体などで具体的には商工会、農協、学

校など

掲示物の定義・イベント広告、絵画の展示などで営利活動以外の掲示

安藤

現地を確認したところ空白、寂しいところがあります。

都市政策部長

ジュニアスポーツの部員募集・保育士さん

地下歩道が20年経過した状況の中きれいにし検討していきたい。

トイレのバリアフリー化洋式化へ

大石・教育委員会次長／随時考慮しながら進めて行きたい

安藤

小中学校校舎増設工事、並びに改修が行われていますが、災害時に避難する高齢者や障害者の方が使いやすいように内外のトイレについて問う。

教育委員会次長

仲原小の増築工事が完了しますと、全ての小・中学校に多目的トイレが設置されます。これから老朽化対策とあわせて、洋式ト

西村・教育長

学校は子供・教員・来客・保護者等々同時に緊急避難場所になっ

ていますので地域の方がお困りの中で来られる。いろいろな児童・生徒の増加に伴いできるだけ楽な姿勢でトイレができるように整備・設置をしたい。



原町駅人道入口

進んでいるか、選挙公約

因・町長／2017年から実行予定

福永 選挙戦で訴えられた公約は。

町長 就任早々から、給食センターの問題がありました。

だから、自分の公約は一切進んでおりません。

福永 町長は議員経験もあり、行政の中身を理解しており、行政の素人ではない。

そんな中、行政の素人でない町長がある事案により公約が全くできなかつた、というのであれば、町長の行政手腕や評価はマイナスと言わざるを得ない。

町長 緊急性の観点から、給食センターの問題を解決するのが優先だと思っております。

だから、私の公約は今すぐやらなくても支障はない。

福永 町のトップになるまでは希望や目標を訴えてもよいと思うが、実際にトップになったら、実行力ではないのか。

町長 全部がトップダウンでいいのか疑問がある。

強引に自分の意見を押し通していくような手法は考えていません。

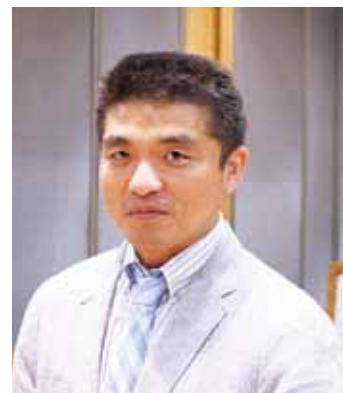
福永 公約では、『福岡県で一番子育てしやすいまちづくり』を訴えられました。

町長 目標です。

福永 保育園へ入園できない待機児童が発生しているが、対策は。

町長 老朽化した保育園の建て替え時に定員増で考えています。

福永 先ほど、町長は、公約は今すぐやらなくてもいい、と発言されましたが、待機児童対策は先



福永 善之 議員

送りでよいのか。

町長 先送りではないが、給食センター問題の優先順位が高いと考えています。

待機児童対策として、老朽化の建て替えを部下に今から指示します。

福永 今からですか。

建て替えは数年間は不可能ですから、その期間中に待機児童に悩む方は預け先が見つけられませんよね。その現状で、町長が

公約とされた『福岡県で一番子育てしやすい町』と言えるのか。

福永 紙面の関係で、福永の待機児童対策は、会議録かインターネット動画を参照ください。

町長 将来展望を持たながら、また財政状況も考えていかねばならない。では、あなたに、待機児童の方策はありますか。

年齢(歳)	調査年月日	
	2016年4月	2016年10月
待機児童数(名)		
0	7	24
1	23	26
2	15	19
3	8	9
4	4	5
5	0	0
合計(名)	57	83

待機児童の推移



久我 純治 議員

待機児童対策は

因・町長／仲原・中央保育所を建て替ればいい

久我

どんどん増える待機児童対策

策として星の子保育園と同様な保育所を早急に造ってはどうか。仲原・中央保育所を建て替えるというが、具体的な計画もありません。建て替えには、町民の意見、土地問題、業者の選択、また、大きな費用と時間がかかります。最短でも平成31年4月開園で、2年間の空白ができます。小規模保育所の新設を認めてはどうか。



建て替えを待つ町営保育園

堺・子ども未来課長

小規模保育所は、町内外の認可保育所、また、こども園が町の基準を全部満たしたところで、園を設定され、申請されると、法律上審査して、問題がなければ認めざるを得ません。母体を連携保育所として認めて、小規模保育所として認可します。最終的には就学前まできちつと自分の園で最後まで保育して欲しい。

水鳥橋の今後はどうするか

因・町長／今から公共施設等の補修などが始まる

久我

平成26年12月5日、橋が崩落して2年になりました。

かけない方法でできないものですか。

ので、再建したい。時間が欲しいです。

す。

粕屋町のシンボル、駕与丁公園の橋です。

町長

公共施設の老朽化の建て替えなど、色々と考えています。

の再建を求めています。

1億円近くかかるのではないかと。今後、財政的に余裕

狭くてもいい、安心で安全な、あまりお金を

ができましたら、崩落したままではいけない



くずれ落ちた水鳥橋の橋ゲタ

一灯点滅式にはできないか

因・町長／警察とも協議してきました

久我

長者原から江辻に通る町道、途中信号機が無い交差点で事故が多く起きています。

なっています。

一灯点滅式信号機は取り付けられないものですか。

滅信号機を設置すると横断歩道側の黄色点滅となり、横断歩道を歩く人が危険になります。

粕屋東中学校の生徒のマラソンコースにも

町長

路線の優先関係に従って点

柏屋町公共施設等総合管理計画は

山本・総務課長／優先順位は所管部署等で実施計画策定

長 平成25年度以降の公共施設

等関係決算総額はどのようになっていますか。

381億円(年9.5億円)併せて年

19.5億円の説明を受けましたが優先順位はありますか。

総務課長 今回の公共施設等

総合管理計画は、基礎となる40年間の長期計画を提示し、今後かかる経費を削減する必要があるので、優先順位は所管部署において実施計画などを策定し検討します。

安河内・総務部長

決算額における性質別経費の投資的経費は普通建設事業費でございしますが、これが該当すると考えます。平成25年度10.4億円、26年度22億円、27年度20.1億円、平均で17.5億円です。

因・町長

総合計画は既存施設

設の状況を調査し、基本的方針を示したものであり、優先順位など内容を精査した結果は、その際、皆様にご報告すると聞いています。

長 公共施設のマネジメントの

期間と事業費は公共施設などでは40年間で400億円(年10億円)インフラ施設では



新給食センター建物



長 義晴 議員

給食センター建設中断に伴う遅延損害金は

石山・給食センター準備室長／11月14日現在1億1,300万円程度

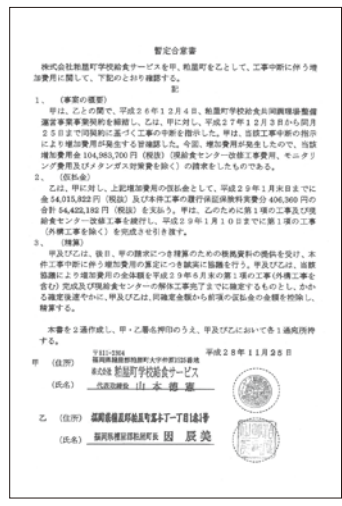
長 遅延損害金の協議内容と金額は町長どうなっていますか。

因・町長 ご質問の協議内容と金額につきましては担当の方から説明させていただきます。

当初から8,800万円程度減額になっており、改修工事も若干減っておりますので、減額としては約9,000万円ほどの交渉結果となっております。ご確認ください。

給食センター準備室長

顧問弁護士の業務は遅延損害金のみ交渉ではなくSPC(特別目的会社)から請求されております。中断から再開までの費用、工事延長、開業遅延費用などでその金額は11月14日現在、税込1億1,300万円程度となっております。



暫定合意書



川口 晃 議員

町立幼稚園に空調設備の設置を

安川・住民福祉部長／県の学校施設環境改善交付金事業の申請をしています

川口 今年の夏は30度を超す真夏日が何日も続きました。7月の上中旬も、9月の残暑も、10月も続きました。幼稚園児の教室での授業もそれ相当時間はあります。教室の暑さを考えると、空調設備を付けるのは当たり前ではないですか。

住民福祉部長

やっぱり先生から要望が多いです。今年度の学校施設環境改善交付金事業に乗せるために、県へ要望

を出しています。

県からの内示は2月初旬頃出ると聞いています。

内示が出れば、3月補正をし、29年度実施に向けて進めます。



西幼稚園左棟の教室

各小中学校の洋式便器への改修は

大石・教育委員会次長／西小・中央小交付金がついたら3月補正で

川口

公立小中学校トイレに関して

て文科科学省が初めて実施した全国実態調査では、洋式便器の割合は43.3%に上りました。粕屋町は。

教育委員会次長

粕屋町の小中学校のトイレの状況は、男性

女性合わせて、洋式便器が34.4%、和式が65.5%です。

換えは何%位ですか。

国の平成28年度補正の交付金事業に西小学校と中央小学校のトイレ改修を申請しており、つきましたら3月補正に計上し、29年度実施。

教育委員会次長

60%ぐらいです。

川口

小中学校の洋式便器への切



小中学校の和式トイレ

固定資産税の軽減措置をとっている企業は

関・税務課長／かなり多いので、この場所では難しいです

川口

粕屋町にはJR福北ゆたか

線と香椎線があります。駅も7駅あります。JRの固定資産税の税額と軽減措置の税額は。

税務課長

三島特例が2分の

- 1、承継特例が5分の3
- 3、合わせて10分の3に軽減されます。

があります。固定資産に關しても特例があります。固定資産税で軽減措置を採用している企業はありますか。

税務課長

34項目の軽減措置

があります。大体、公益性が高い固定資産に關して特例があります。かなり多いので、今の場所では(名称は)難しいです。

川口

粕屋町には高速、また多数の企業

バリアフリーの現状と対策は

因・都市政策部長／バリアフリー法により利便性の良い町づくり

小池

現在、国の方針において高齢者や障がい者などが社会活動に参加し自己実現できるために、バリアフリー化が進められてきました。本町の現状と具体的な取り組みや対策について尋ねます。

アフリー法にのっとりまして住民の皆様へ利便性のいい施設を使っていたらいいと考えています。

小池議員さんが申されますようにエレベーターというのは非常に重要なことだと認識しています。

ておりますけれども、なかなか現在の経済状況など、そして利用者数においてなかなかエレベーターまで行けないというところで歯がゆい思いをしているところがございます。

都市政策部長

原町駅のエレベーター設置のことだろうと思います。

原町駅の乗降客の数は、1日2,400人程で、3,000人を超えますと国からの補助金が出せるようになります。

そうなることが望ましいことですが、バリア



JR原町駅と階段

九大農場跡地利用の現状は

新宅・社会教育課長／平成30年度に史跡指定手続きを



小池 弘基 議員

小池

約1,300年前の飛鳥時代の遺跡が出土したことから、約3年間にわたり試掘調査が行われましたが、現状と今後の予定を尋ねます。

因・都市政策部長

今現在におきまして遺跡の保存の形態と道路線形がまだ確実に決まっている状況でございます。ここでも、報告できるものではないかと考えております。

社会教育課長

教育委員会と致しましては、平成30年度に国指定手続きに入りたいと考えております。

早ければ、文部科学省所管の文化審議会のほうで平成31年度からの史跡指定を目指したいと思っております。



山脇 秀隆 議員

健康寿命を延ばす取り組みは

因・町長／高齢社会のニーズに応える

山脇 高齢社会に対する健康寿命を延ばす取り組みは。

町長 食生活や飲酒の問題など多岐にわたって関連があるので対応したい。

安川・住民福祉部長

2025年をめどに医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制の構築を他町に先駆けて取り組んでいます。

山脇 在宅医療の取り組みは。

住民福祉部長

現在、粕屋医師会等々と連携を図りながら体制の構築を進めています。

山脇 高齢者の生きがい就労について。

住民福祉部長

シルバー人材センターを核として就労機会の拡大を図ります。

本多・地域振興課長

平成27年度から30年度にかけて創業希望者に対して相談窓口、創業セミナーを実施しています。

山脇 高齢者向けジョブカフェの窓口を考えては。

町長 内部で検討します。

山脇 生活困窮者の支援は。

住民福祉部長

経済的な課題のみならず社会的孤立や家族

梓組み予算について

因・町長／職員のやる気を出した予算に

山脇 来年度予算編成のやり方は。

今泉・経営政策課長

歳入の範囲で歳出を組むという原則に従い、基金の取り崩しを行わず予算編成を行います。

の課題、単身世帯の増加など複雑化した状況です。

生活自立支援制度が施行され、県が粕屋町若宮に自立支援事務所を開設し、相談者の支

援を行っています。



シルバー人材センター作業風景

部分は、スクラップ・アンド・ビルドで新しいものを組みます。

山脇 積算基準はいつを対象にしているのか。

安河内・総務部長

平成27年度決算に基づいています。

山脇 一般補正予算は行わない考えか。

町長 収入の範囲内で優先順位を担当課で決め足りない

町長 緊急性以外はやらないと思っています。

山脇 町長が向かう町政運営は。

町長 他町と比べると基金が少ないので無駄を省きながら基金を積み立てます。

所管の担当職員がやりがいを持って自らの発想で事業を組み、住民に対応することが大事であると考えます。

第2回 子ども議会

平成29年1月28日(土)

午前9時30分から開催しました



(平成29年1月28日子ども議会の様子)

質問者(敬称略)

前半4組 8名
① 大川小学校A(田中 咲也・野田 愛純果)
② 大川小学校B(藤本 由佳)
③ 粕屋西小学校 (平田 水奈・河野 好海・中山 桃花)
④ 仲原小学校(古川 桃・阿部 稚菜)

後半3組 6名
① 粕屋東中学校(寅田 純伶・内山 咲蘭)
② 粕屋中学校A (藤本 梓音・中須賀 奏太・飛永 浩貴)
③ 粕屋中学校B(安部 裕太)

発行責任者：議長 進藤 啓一
 編集委員長：小池 弘基
 編集副委員長：木村 優子
 委員：福永 善之
 委員：太田 健策
 委員：安河内勇臣
 委員：川口 晃

経緯の説明

先の9月議会において、福永善之議員は7番目に一般質問されました。

しかし、『粕屋地区人権連』と『日本共産党』に関して、本人の『誤解』による質問が数ヶ所ある事を認められ、9月26日の本会議の冒頭で『一般質問全て』の取り消しを申し出られ、承認されました。

以上、9月議会だよりに掲載しなかった経過の説明とさせていただきます。

このページの記事担当は、川口 晃でした